

# 花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ園立ててく3

国立市立国立第七小学校

平成27年9月7日 NO.45 (245)

ツマグロオオヨコバイ(別名バナナムシ・ヨコバイ科)



花ちゃん 「あ！これはバナナムシですね。」

オー君 「ピンポン。<sup>ただ</sup>正しくはツマグロオオヨコバイという<sup>なまえ</sup>名前なんだよ。」

モンタ博士「さすがは、オー君。よく知っているね。」

花ちゃん 「ところで、モンタ博士！このバナナムシはどうしたのですか。」

モンタ博士「これはね、1年2組のHさんが生活科の時間に、<sup>うらにわ</sup>裏庭で見つけたそうなんだ。

<sup>じぶん</sup>自分でつかまえてうれしかったので、<sup>み</sup>見せにきてくれたんだよ。」

オー君 「<sup>はる</sup>春に見つけたバッタたちも、<sup>なつ</sup>夏の間<sup>あいだ</sup>に大きくなっているね。また、みんなで

<sup>うらにわ</sup>裏庭に虫さがしに<sup>い</sup>行きたいな。」

モンタ博士「そうだね。またみんなで<sup>やす</sup>休み時間<sup>しかん</sup>に<sup>うらにわ</sup>裏庭たんけんをしようね。」

花ちゃん 「それは楽しみですね。ところで、どうしてバナナムシといたり、ツマグロオオヨコバイというのですか。」

モンタ博士 「そうだね。今日は、オー君にいろいろと教えてもらおう！」

オー君 「まかせとけ！まず、バナナムシというのはあだ名みたいなものだね。体全体が黄緑色をしているだろう。だからそのように呼ばれているんだよ。左の写真は羽の先が黒いだろう。これはオスなんだ。メスは黄緑色一色かちょっと褐色になるくらいなんだ。」

花ちゃん 「へえー。そうなんだ。それでは、ツマグロオオヨコバイというのは、どうしてつけられたのですか。」

オー君 「ツマグロの『ツマ』とは、『はじっこ』という意味で、羽のはじっこが黒いということなんだよ。」

花ちゃん 「ヨコバイというのは？」

オー君 「それはね、この虫をよーく観察しているとわかるけど、敵などが近づいてくると、横にはって逃げるから『ヨコバイ』となったんだ。こんな動きをする虫は他にはいないから、つかまえるまえにじっくりと見てみると楽しいよ。」

花ちゃん 「オオというのは、やっぱり大きいという意味ですか。」

オー君 「まあそうなんだけど、ただのツマグロヨコバイというのは、イネの害虫なんだよ。ツマグロオオヨコバイは、いろいろな草や木の葉っぱや茎から汁を吸っている生き物なのさ。」

花ちゃん 「ふーん。汁を吸うといったけど、どうやって吸うのかな。」

オー君 「針のような口を植物に差して、チュウチュウと吸うのさ。」

花ちゃん 「チュウチュウ吸うということは、ツマグロオオヨコバイは、セミやカメムシということですね。」

オー君 「そうそう、そのとおりさ。」

モンタ博士 「難しい言葉で半翅目というんだ。いろいろな虫の名前まではわからなくても、何の仲間なのかと気付くことが大切なんだよ。」